

協議会だより

発行・編集 大阪障害者スポーツ指導者協議会 会長 松本 晃
大阪市東住吉区長居公園 1-32 大阪市長居障害者スポーツセンター内
TEL 06-6697-1402 FAX 06-6697-8613

平成 17 年 5 月 20 日
第 51 号

第1回 障害者スポーツ指導者 全国研修会
平成 17 年 2 月 6 日（日）
会場 中野サンプラザ
第 1 回の全国研修会が、東京で開かれた。指導者の参加者も 270 名と大変多く集まった。
午前の基調講演は、増田明美氏の「障害者スポーツに携わって思うこと」
午後は分科会 A マネージメント系
1 地域における組織・クラブの作り方と運営
2 大会の企画・運営の具体的方法
3 指導者間のネットワークづくり
4 障害者施設におけるスポーツの展開
5 養護学校におけるスポーツの展開
6 内部障害者のスポーツの取り組み
7 精神障害者のスポーツの取り組み
分科会 B 実技系
1 陸上競技指導者の基礎
2 水泳指導者の基礎
3 知的障害者のスポーツ
4 視覚障害者のスポーツ
5 聴覚障害者のスポーツ

協議会から 3 名参加させて頂いたので、幾つかの分科会には参加できなかった。参加することはできなかった。
平成 16 年度 報告
障害者スポーツ協会協議会
平成 17 年 2 月 28 日 ・ 3 月 1 日
会場：都市センターホテル
恒例の年度末に各都道府県の障害者スポーツ協議会の代表が集まり、報告・研修を受ける。当協議会からは、理事の永島久義さんが参加。
大阪障害者スポーツ指導者協議会の現状について ①大阪障害者スポーツ指導者協議会の設立趣旨 ②経緯 ③組織 ④会員数 ⑤活動内容 ⑥組織の業務分担 ⑦主なボランティア依頼団体 ⑧活動の特徴 ⑨検討課題の報告資料を提出。また、研修内容として
・指導者のための海外研修から
・障害者のための健康・体力づくり
・指定管理者制度について
各県の自由報告からは第 4 回全国障害者スポーツ大会報告（埼玉県）



第 5 回全国障害者スポーツ大会報告（岡山県）、そして午後からの研修として障害者スポーツセミナー
「アテネパラリンピックを踏まえて」
・基調講演
「トレーニングとからだの動き」
・アテネパラリンピックレポート
「視覚障害者柔道の現状と課題」
「こはんは力」
「メディカルサポート」
「パラリンピック、5 回目の挑戦」
・トピックス
「全国障害者スポーツ大会の動向」
「トレーニングサポートのネットワークづくり」
と過密なスケジュールで動いていたできました。



協議会だよりに載せて欲しい記事や報告、お知らせがあれば連絡を寄せてください。ただし、障害者スポーツに関わることとさせて頂きます。 広

第 5 回 障害者スポーツ大会

大 阪 府

競 技	日 程	会 場
陸 上 競 技	平成 17 年 5 月 22 日（日）	万 博 記 念 競 技 場
卓 球 競 技 フライングディスク競技	平成 17 年 5 月 28 日（土）	大阪府立障害者交流促進センター （ファインプラザ大阪）
ボウリング競技 （知的障害者のみ）		ボ ウ ル メ ー ト 京 橋
水 泳 競 技	平成 17 年 5 月 29 日（日）	大阪府立障害者交流促進センター （ファインプラザ大阪）
アーチェリー競技 （身体障害者のみ）	平成 17 年 6 月 5 日（日）	浜寺公園アーチェリー場（仮称）

大 阪 市

競技	日程	会場
陸 上 競 技 フライングディスク競技	平成 17 年 5 月 15 日（日）	長 居 第 2 陸 上 競 技 場
アーチェリー競技 卓 球	平成 17 年 5 月 22 日（日）	大阪長居障害者スポーツセンター
ボウリング競技	平成 17 年 5 月 29 日（日）	ボ ウ ル メ ー ト 京 橋
水 泳	平成 17 年 6 月 5 日（日）	大阪市舞洲障害者スポーツセンター

大阪障害者スポーツ指導者協議会

総 会 の お 知 ら せ

平成 17 年 6 月 12 日（日）午後 1 時～午後 5 時

場所：大阪長居障害者スポーツセンター

基調講演： 総会： 懇親会の予定。会員の皆様の参加をお待ちしております。
事業報告はもちろんの事、会員同士の交流を深めましょう

編 集 後 記

全国障害者スポーツ大会に出場する選手の選考会を兼ねた競技スポーツの祭典が開催された。
はじめて参加する選手、また毎年この大会を目指して参加する選手など面々は、さまざまである。
また、ボランティアの人たちも同様。競技補助、大会協力と担当場所はさまざまではあるが、同じ空気を感じ、感動できる喜びもまた同じだ。

そして、私たち広報もレンズを通してたくさんの選手の顔を見ることができた。

広報一同



2005 国際親善車椅子バスケットボール大阪大会

平成 17 年 2 月 17 日（木）～19 日（土）

会場：大阪市中央体育館



毎年行われている国際親善車椅子バスケットボール大阪大会で、今回初めてジュニア達に世界のアスリートによるレッスンが行われました。そこで、幾つか辻奥沙織先生に質問をしました。



★計画の動機は？

世界のトップ選手が来阪するのだから、この機会に是非、選手と子ども達（今回は肢体不自由児に限った）が交流できる場面を設定したいと思ったのが原点。同じ時間、同じ場所で一流の選手に接するチャンスは滅多とないことなので、多くの子どもに選手と交流してほしいと思った。



★子ども達の表情や反応は？

小学 1 年生から高校 3 年生まで、技術面においても初心者から選手として活躍する者と幅広い受講者でした。（カンボジアからの 2 名を含め 22 名の受講者でした）最初はガチガチに緊張していましたが、選手達がうまく盛上げてくれたので笑顔がたくさん見受けられました。間近で見る選手達の迫力に圧倒される場面もありましたが、なかなか好評でした。子ども達より保護者の方々が興奮されていたようにも感じました。



転倒のした時などの起上がり方を習っている



★指導者(選手)達の表情や反応は？

各国チームの選手達は、子ども達の状態に合わせて上手に交流、指導してくれました。決勝戦の直前だったにも関わらず協力してくれた選手達に感謝しています。さすが一流と感じる選手達のおかげで、Jr レッスンが成功しました。



★皆さんに伝えたいことは？

今回の Jr レッスン受講生の中から、有望な選手が育つよう応援してください。

大阪障害者スポーツ指導者協議会研修会

ビームライフル

講師 NPO 法人日本障害者スポーツ射撃連盟理事

平成 17 年 1 月 23 日（日）

大阪府障害者ライフル射撃協会理事長 兼 会長

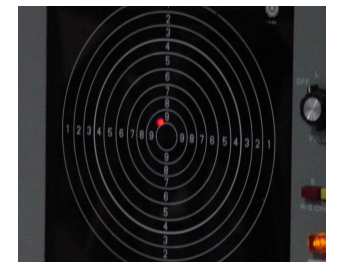
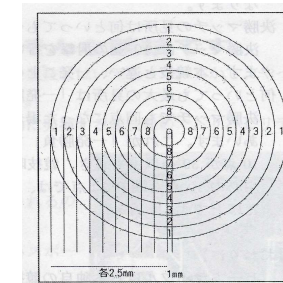
林 一義 氏

最近、障害者のスポーツイベント、パラリンピックの注目度が日本全域で高まっている。そんな中で「ライフル射撃」が障害者のニュースポーツとして取り上げられ、「ビームライフル（光線銃）」を使用して広く競技として普及し始めている。ビームライフルは当初（社）日本ライフル射撃協会が開発をしたもので、エアライフルの練習用として長い期間高校生の射撃に使用され、現在の殆どのオリンピック選手を育てたものである。現在では実弾を使わない上に操作が簡単で、安全であることと警察の許可も要らず手軽に手に入れることも手伝って障害者にも広く知れ渡ることとなった。更に国体の種目になって久しく、ついに平成 10 年の神奈川国体後に開かれた「かながわ・ゆめ国体」（第 34 回全国身体障害者スポーツ大会）では、ライフル射撃が初めてオープン競技として採用されることになり、今後の大いなる発展と普及が見込まれている。

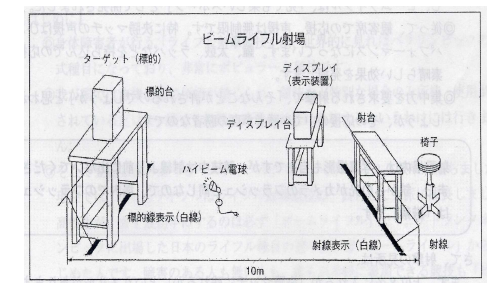


競技のルール

- ・距離 10m. 銃の重さ 5.5kg.
- ・標的は右図のような直径 46mm. の円
- ・射撃姿勢「肘射競技」「自由姿勢競技」
- 「肘射競技」
- ・両肘を射台に乗せて、銃を支えて射撃を行う
- ・足は自由な位置でよく、靴にも制限はない
- 「自由姿勢競技」
- ・どのような姿勢で射撃を行っても制限はない
- ・引き金の前に銃を支える台を 1 台だけ置くことができる



競技種目は、肘射、自由姿勢ともに 40 発で、競技時間は肘射 40 分、自由姿勢 30 分。競技は選手全員が行う「本競技」と本競技の上位 8 名で行う「決勝マッチ」がある



特 徴

- ・ビームライフル射撃は、健常者・障害者・老若男女に関わらずハンディなく競技することが出来る数少ないスポーツである。
- ・「静」のスポーツとして障害者・健常者・高域年齢者・体力が無くスポーツが出来ない人や脳性まひ、筋ジスロトフィー等による上半身の障害者にも可能である。
- ・銃はエアライフルと同じ規格で、標的の大きさもエアライフルと同じ。つまり、ビームライフル競技をしながら、エアライフルの練習が出来る。